

エキノкокスの血液(血清)検査を受けましょう!

町を5つの地区に分けて5年に1回血液検査を実施しています。
早期発見・早期治療のために検査を受けましょう。

★どんな病気？

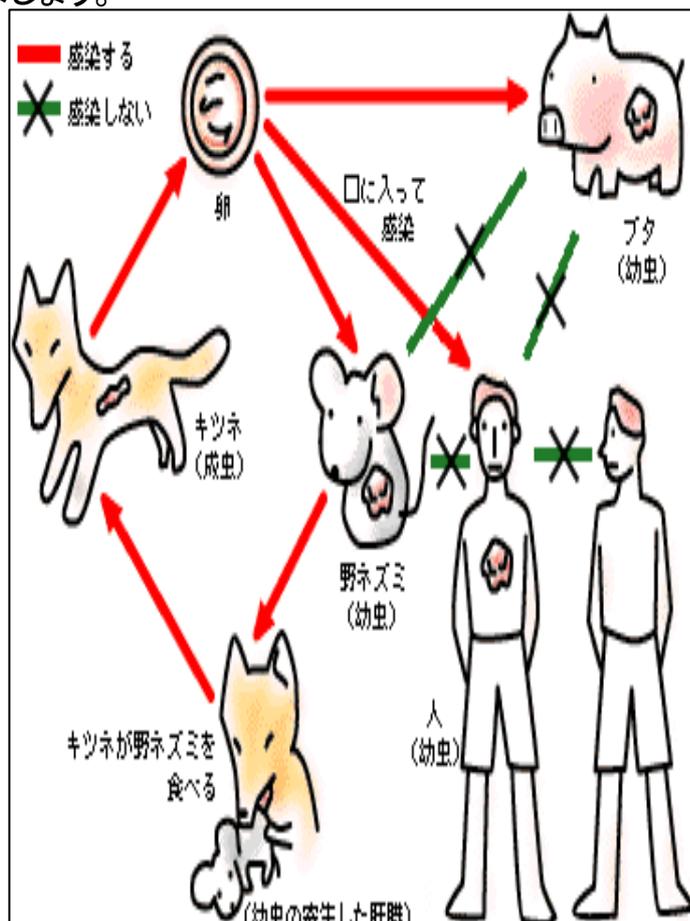
エキノкокスは寄生虫の1種です。成虫(親虫)と幼虫(子虫)がいます。親虫はキツネ・犬に寄生し卵を作ります。幼虫は野ねずみに寄生しています。成虫の卵が何らかの機会に人の口に入ると腸で卵から幼虫なり、主に肝臓に寄生しエキノкокス症という病気を引き起こします。

感染してから、症状が出るまでは10数年かかり気がつかないうちに悪化してしまうことが多い病気です。

エキノкокスの予防のためには卵が口に入らないようにすることが大切です。

エキノкокスが寄生したキツネやそのふんに直接さわったり、ふんに汚染された山菜や沢水を口にすると感染の機会があります。

人家の周囲にキツネを近づけないよう生ゴミやえさになるものの管理に気をつけましょう。



★してはいけないこと

①キツネのえさになる残飯や生ゴミなどは放置しない。



②かわいいからといってキツネの餌づけしたり呼び寄せたり、手で触れる事は絶対やめましょう。



③沢水や小川などの生水は飲まないようにしましょう。



④イヌの放し飼いは絶対やめましょう。



★予防のために大切なこと

①外から帰ったら必ず手洗いをする。



②野山の果実や山菜などを口にする場合は、よく洗うか十分熱を加えてから食べましょう。
(卵は、100度で1分間の加熱で死滅します。低温には強い。)

③生ゴミなどキツネのえさになるものはきちんと保管し処分しましょう

